

江府町の地域おこし協力隊の活動日記

vol. 3 『日頃お世話になっている方にインタビューしてみました』

今回は、松本隊員がお世話になっている、農事組合法人宮市（以下「法人宮市」）代表理事を務めておられる長岡邦一さんにお話を伺いました。

●松本さんと初めて会ったのはいつですか？

長岡 平成28年の春頃です。

松本 移住先を探して江府町に来て、道の駅で観光協会の遠藤さんに出会い、その後白石町長を通じて、長岡さんとお会いしました。

長岡 法人宮市の作業を手伝ってもらったら、やる気があつて好印象でした。その後連絡先を交換して、宮市集落での作業や行事の事なんかをメールで伝えました。なかなか返信が無かったからどうかと思つたけれど、「大丈夫」と言つてくれて良かったです。

●松本さんについて。長岡さんから見て、どんな方ですか？

長岡 良く頑張るなー、と思います。覚えもいいし。私が今、手の不調で負担をかけているけど、すごいサポートしてくれているので、来てくれて良かったです。た

だ、協力隊2年目になって、宮市集落以外にもいろいろ繋がりが出来てきたので、あっちこちから声かけられる事が多く、頑張り屋さんなので、倒れないかが心配ですね。

●松本さんが来たことで、集落の様子は変わりましたが？

長岡 町外からの移住受入に関して、前向きになってきている印象があります。松本さんは法人宮市での活動だけでなく、集落の出役やなんかち屋さん等の集落活動にも参加しているの、集落のほとんどの人と関わっています。松本さんのようにやる気がある人は受け入れる体制になっているんじゃないかな、と思います。

松本 長岡さんが前向きな考えの方で、「やりたい」と思つた事は積極的にやらせてくれるので、私もやる気が出るし、頑張れています。

●今後、松本さんに期待する事はありますか？

長岡 集落に馴染んでもらつて、協力隊の任期が終了後は、法人宮市の一員として頑張つて欲しいです。そのためにも、私は法人宮市の基盤を強化し、「明日があるさ」で元氣よく安心して働いて生活してもらうために、販売戦略も考えていかなければならないな、と考えています。協力隊をもう1人募集しているの、来てくれれば、その人に加工部門を、松本さんは農業部門を、お互いの繁忙期には助け合つて宮市の田んぼを守つていって欲しいです。



▲今は二人で宮市集落の田んぼを守ってます

公民館講座のご紹介

今回は自主講座の押し花をご紹介します。現在9名の方が受講されています。押し花は生花を専用のマットに挟み、1週間程度乾燥させたものを台紙に並べて作ります。お互いに花を交換したりしながら、様々な花を使い、出来上がりを想像して作成していきます。1つの作品が出来るのに4か月（講座8回）程度かかりますが、時間をかけて作つたからこそ、仕上がった時の喜びは格別です。完成品は作成時の鮮やかさを10年程度保つので、受講者のみなさんは自宅に飾つたりしておられます。

日時：第2、4月曜日 13:00～17:00
場所：防災・情報センター
参加費：1回1,000円（材料代は実費）
問い合わせ先：教育課 川上
電話：0859-75-2005



▲作品は江府町文化祭で展示されます